



Daiwa House®
大和ハウスグループ

住宅施工現場の快適トイレ推進PJ 状況報告

2018年2月26日

大和ハウス工業株式会社
住宅事業推進部 設計施工推進部
佐々木 良彰

Daiwa House

1. 活動目的（現場環境改善）

活動目的1

「建設現場を快適な職場環境に変える」

建設現場を男女共に働きやすい環境とする一環として、国土交通省は快適に使用できる仮設トイレを「快適トイレ」と名付け平成28年8月に「快適トイレ」標準仕様を発表した。公共事業においても導入を原則化している。

当社においても、「じゅうたく小町」活動を通じ、「建設現場を快適な職場環境に変える」一環として「快適トイレ」を平成29年度より積極的に推進する検討を開始した。



2. 当社における仮設トイレの現状

当社の現状

当社における仮設トイレの現状は簡易水洗式「和式便器」が主流であり水洗処理可能地域であっても簡易水洗式を採用している現場が多い。

仮設トイレが「和式便器」「簡易水洗式」になっている理由(問題点)は、

- ①「洋式便器」の市場流通が少なくコスト高になりやすい。
- ②下水道使用許可申請に日数と費用が必要。
- ③「洋式便器」への抵抗を懸念している。
(建設現場＝和式便器の先入観が強い。)などが挙げられる。



問題点と解決策

①「洋式便器」の市場流通が少なくコスト高になりやすい。

⇒仮設トイレ「洋式便器」のコスト高は市場流通の少なさが原因であり
普及することで価格格差は縮小する。市場流通量を増加させるためにも
現場数、回転数の多い住宅メーカーが切替の推進を行う。

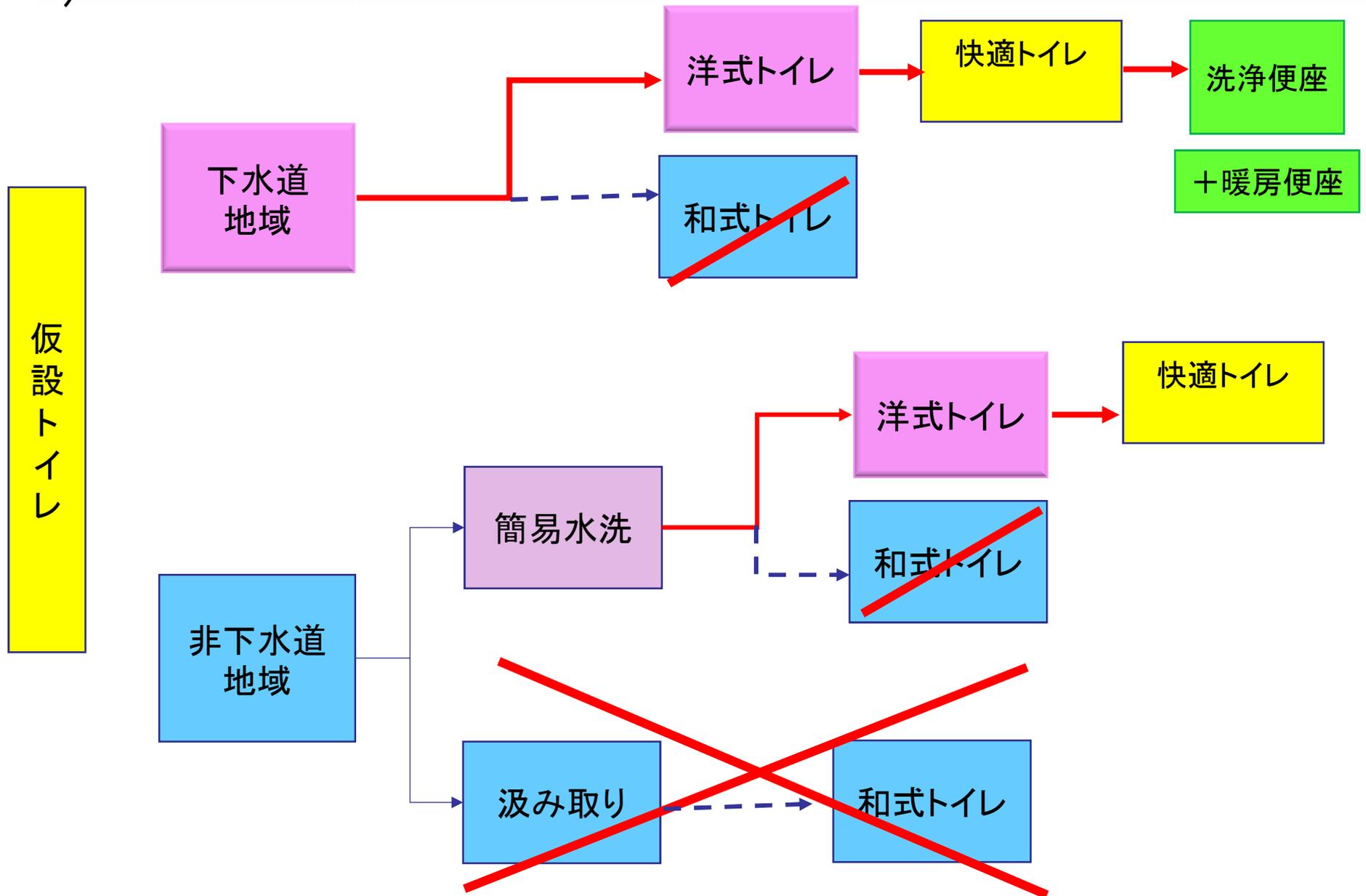
②下水道使用許可申請に日数と費用が必要。

⇒「水洗式仮設トイレ」の許可申請を計画的に行う。また費用については
近年汲み取り処理費用の高騰化が進み、水洗化に伴う費用は簡易水洗式
と差が縮小し、地域と汲み取り回数によっては水洗式の方がコストメリット
ある。

③「洋式便器」への抵抗を懸念している。

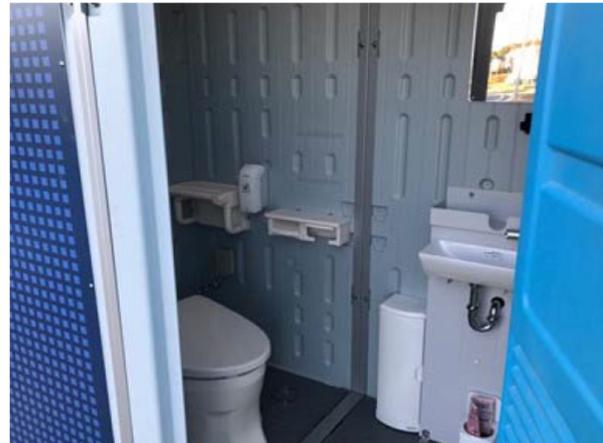
⇒一般生活での洋式便器普及より「建設現場は和式便器が普通」という考え
方を変えるため、現場で働く方に目的を丁寧に説明を行い、理解の上推進
を図る。

4. 住宅施工現場の改善 (快適トイレ採用へ向けて) Daiwa House®



6. 活動状況 (関東地区先行展開)

- ・洋式便器化(+水洗式)2017年10月より関東地区先行展開を実施。
- ・快適トイレも取り組む



1. 下水道地域現場での仮設トイレ水洗化率

水洗化率 20% 非水洗化率 80%

2. 和式便器・洋式便器比率

和式便器比率 95% 洋式便器比率 5%

3. 水洗式仮設トイレと簡易水洗式仮設トイレのコスト比較

コスト比率は簡易水洗を1.0とした場合、水洗式は2.0となりました。

* 処理費を含む総金額比率。(全国平均)

関東地区先行展開では下記の事が判りました。

- ①コストについて分譲地では簡易水洗式の方が汲み取り回数が多くなる為、水洗式仮設トイレにコストメリットがある。
- ②「洋式便器」への反対意見は特になかった。(ヒアリングは今後も継続)
- ③「和式便器」と比較して「洋式便器」は清掃が簡単、清潔を保っている。
- ④水洗式に切替えた現場は臭気が少ないので近隣配慮の改善になっている。

今後の展開予定

約2か月の実施ですが、当初懸念していた問題点も解消しつつあり洋式＋水洗化⇒「快適トイレ」の普及に手ごたえを感じています。今後は供給元のレンタル会社さんと打合せを行い、ロードマップに則したスケジュールでかつ供給可能数量に見合った現場での展開を実施していきます。



Daiwa House®

大和ハウスグループ

ありがとうございました。

www.daiwahouse.co.jp